

## 子育て世代包括支援センター



妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行ないます。

これまでは子育て期に対する支援が中心であったので、センターの開所によって、妊娠中から出産までの方々を幅広く支えていければと思います。妊娠中の方々にも気軽に立ち寄っていただき、先輩ママたちと交流してもらえそうな場所にしていきたいです。

 保健師の飯島さん  
(上野台子育て支援センターにて)

## 自転車ネットワーク計画

市内の道路は幅員の狭い区間が多いので、公共施設や商業施設などを結ぶ自転車ネットワークを構築します。

小さい子どももいますが、自転車はよく乗りますよ。新しく歩道を作ったり、広げたりしてほしいです。それに、歩道の植込みが根を張って、歩道がでこぼこしているところは直してほしいと思います。もっと自転車レーンも増やしてほしいです。

 外谷さん  
(上福岡公民館にて)



編集委員が  
直撃インタビュー

# 平成29年度予算

# あなたの意見を聞かせてください。

平成29年度に実施される各種事業について、編集委員がまちの声を聞かせていただきました。防災、福祉、まちづくりについて各人の思いや関心をお寄せいただき、大変参考になりました。

## 全身性障害者介護人派遣事業

重い障がいがあっても、大学で学びたいという方に介護者を派遣する事業です。

4月から文京学院大学に通っています。皆さんからのご支援を受けて、安心して勉強することができます。将来は福祉の資格を得て仕事をしたいと考えています。

 北野在住 藤森さん



## 子どもの生活支援

ふじみの国際交流センターでは、外国にルーツを持つ子どもたちに日本語を教え、自活できる能力を身につけさせるべく活動しています。



日本語が話せないまま日本に連れてこられたり、日本国籍があっても読み書きができない子もいたりします。日本に住み続ける権利は持っており、生活保護に頼らざるを得ない家庭も少なくありません。制度の狭間にいる彼らが、貧困の連鎖に陥らないよう支援を続けています。

 ふじみの国際交流センターのみなさん

## 空き家対策

空き家の未然防止や有効活用について、不動産取引業者等と連携した新しい取り組みが始まります。

費用はかかるが、不動産取引業者と連携することで、市が借り上げ、低所得者向けに貸し出すことが可能だと思います。

また、公園や防災空地として提供してもらうことで、固定資産税を減免するなどの取り組みがあると良いと思います。

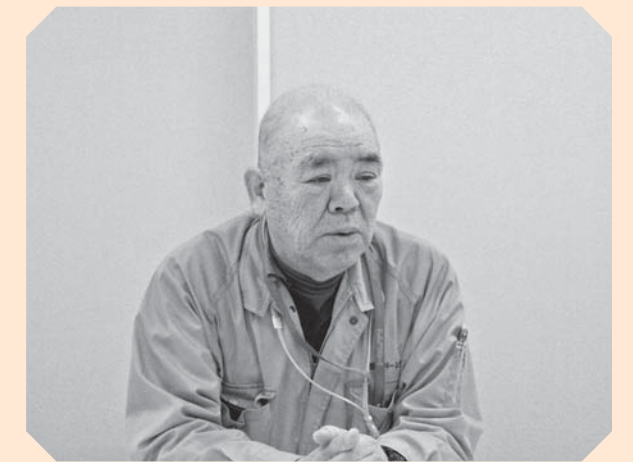
空き家になってしまう理由はそれぞれあると思いますが、所有者の事情をうまくみとって、未然防止と有効活用を図ってほしいです。

 駒西在住 山本さん



## 入間東部地区総合防災訓練

今年の防災訓練では、初めて行政境での避難所設営訓練が実施されます。



これまで児童は勝瀬小学校に行き、親は東原小学校の訓練に参加するという状態が続いていました。発災時には、親子ともども勝瀬小学校に避難することになるはずなので、実態に即した形で訓練が実施されるのは望ましいと思います。

これからも、富士見市、ふじみ野市という枠に捉われず、地域という観点で行政を進めてほしいです。

 みほの町会の山辺さん